

ガバナー月信

第2640地区 2016年2月(8)

ジョン F. ジャーム国際ロータリー会長エレクトは、2016-17年度のテーマとして「人類に奉仕するロータリー」を選びました。社会貢献への熱意をもつ職業人が集うロータリー独自の力を生かせば、大きな目標も達成できる、とするジャーム会長エレクト。「世界でもっと大きな『よいこと』をする推進力となるために、固い決意でポリオ撲滅を成し遂げ、ロータリーをさらに前進させながら、これまでの成功をバネに飛躍する 때가来たのです」と述べています。



Be a gift to the world

2015-16年度の国際ロータリー会長に就任するK.R.ラビンドラン氏は、同年度のテーマを「世界へのプレゼントになろう」としました。ラビンドラン氏はロータリー会員に、より良い世界をめざして、時間、才能、知識を世界中の地域社会に贈るよう呼びかけます。「ロータリアン会員が自らを『プレゼント』することによって、世界中の人びとの生活を真に改善できるのです」



人類に
奉仕する
ロータリー

ソウル国際大会の登録に関するレポート: 第2640地区

第2640地区の登録者数目標		300名
支払い済みの登録者数(2016年1月1日現在)	138名	8%
登録者総数(2016年1月1日現在)	140名	10%

国際ロータリー 第2640地区ガバナー事務所

- ・住所 〒640-8281 和歌山県和歌山市湊通丁南1-3-1
- ・TEL 073-433-6077
- ・E-mail office@2640.jp
- ・ホームページ <http://www.2640.jp>



2016-17年度テーマ講演

2016-17年度テーマ講演

2016-17年度地区ガバナーをはじめとする朋友ロータリアンの皆さん。本国際協議会へようこそお越しくございました。代ギリシャのある哲学者がこう書き残しています。「偉大な事業は小さな機会から始まるものである」なるほどと思える言葉かもしれませんが、真実はそうではないと私は思います。

私は、偉大な事業は小さな機会から始まるのではなく、大きな機会から始まると思います。ただ、大きな機会は時とて小さく見えるというだけです。

私たちに皆、大きな機会が与えられました。ただしそれは、地区ガバナーを務める機会でも、私のように国際ロータリー会長を務める機会でもありません。私の言う大きな機会とは、皆さんがここにいたったきっかけのことです。

その機会は、ガバナー指名を知らせる電話から始まったものではありません。それよりもずっと前、あるロータリアンから「私のロータリークラブの例会に来ませんか」と誘われたときに始まったものです。

そのときはさほど大きな機会とは思わなかったかもしれませんが、しかし、理由はともあれ、例会に出席させてもらうのも悪くないと誰もが感じたのではないのでしょうか。素晴らしい人たちと出会い、人のために役立つことをし、しかも楽しそうだ、と。

今振り返れば、それは決して小さな機会ではなく、ロータリーを通じて社会に貢献する大きな機会であったことが分かります。その機会をつかんだことで、ロータリーという偉大な事業に参加できるようになったわけです。

ですから、本日に限らず、明日、そして来年度に向けて認識すべきなのは、小さいと思える機会も、それを生かすことで大きな機会にできるということです。

私たちが今週サンディエゴに来たのは、機会を与えられたからです。それはクラブがより良く、より効果的で、より野心的な奉仕活動に取り組めるようにする機会です。

この機会をどう生かすかは、私たち一人ひとりにかかっています。ただし、私たちが下す決断の影響を受けるのは、私たち自身だけではありません。

その影響は、決して顔を合わせることがなくとも、ロータリーのおかげで人生が変わる世界中の人びとにも及びます。

今まさに世界のあちこちで、水汲みのために頭に容器を載せ、徒歩で一時間もかかる汚染された川に行き、水を運ばなければならない女性たちがいます。でも来年度、ロータリーが井戸を掘れば、その必要はなくなります。

インドには、学校にトイレがないために、12~13歳になると学校に行けなくなる少女たちがいます。でもロータリーがトイレを設置すれば、授業を受け続けられるのです。

パキスタンとアフガニスタンでは毎日、ポリオ感染による身体麻痺の危険に脅かされながら生活している子どもがいます。でも来年度、予防接種を行き渡らせれば、子どもたちを恐れから解放し、近い将来に世界からポリオをなくすことができます。

しかしそのためには、ガバナーとなる皆さんだけでなく、クラブ会長やすべての会員に、ロータリーへの入会がいかに大きな機会であったかを認識してもらわなければなりません。その機会は、人類のためのロータリー奉仕を通じて、より良い世界を築く機会です。

ロータリーは今、岐路に立っています。来年度は、世界で最後のポリオ症例が報告される年となるかもしれません。そうなれば、ロータリーの歴史において最も重要な年となります。

ポリオ撲滅の実現まで本当にあと少しです。目標達成にこれほど近づいたことはありません。南アジア全域、アフリカ全域がすでにポリオフリーとなっています。野生型ウイルスの温床となっている最後の地域は、アフガニスタンとパキスタンにまたがっており、ポリオ常在国はこれら2カ国を残すのみとなっています。両国はロータリーのあらゆる支援を活用して、今年がポリオ発症の最後の年となるよう、全力を尽くしています。

ロータリーは30年以上、ポリオと闘い続け、一度もあきらめたことはありません。その間に、25億人の子どもが予防接種を受けました。私たちは必ずや、ポリオ撲滅を成し遂げます。

また、いずれ撲滅が実現した時について、今から考え、準備しておく必要があります。ポリオ撲滅におけるロータリーの貢献を十分認識してもらうにはどうしたらいいか。この成功を、その後数十年にわたって、他団体との協力、会員増強、より野心的な奉仕活動にどうつなげていくか、ということです。

ポリオのない世界の実現においてロータリーが果たした役割をすべての人びとに知ってもらうこと、これが極めて重要です。なぜなら、ロータリーの功績を知る人が増えれば、パートナー団体、資金、そしてなによりも、さらに多くを達成を担っていく会員が増えるからです。

ロータリーがしかるべき評価を受けるために、私たちは全力を尽くしています。しかし、エバンストンの世界本部で何もかもできるわけではありません。ロータリーとは何か、何に取り組んでいるのかを、クラブを通じて地域社会に情報を広げていただく必要があります。

2016-17年度テーマ講演

- ですから、ポリオ撲滅が成し遂げられた時に、その機会を生かす用意がクラブにできていなければなりません。社会貢献をしたい人たちが、ロータリー入会こそが世界を変える方法だと考えるようにすること。そのためには、クラブにその機会を提供する用意がなければならないのです。
- 新会員を入会させるだけでなく、ロータリー奉仕に積極的に参加できるクラブ。新会員を温かく迎え入れ、活気があり、「四つのテスト」を真に実践するクラブ。このようなクラブが必要です。ポール・ハリスが111年前にロータリーを創設した目的、すなわち、「価値観を分かち合える人を見つける」ということは、今日も人びとがロータリーに入会する理由となっています。誠実さ、多様性、寛容、友情、平和を信じ、人生の最大の目的は人類のために奉仕することだと信じている人びとと出会うことです。
-
- ロータリーは変革を遂げ、時代の変化に対応し、前進しています。しかし、その活動が子どもに本を読んでも聞かせることであっても、血液バンクを設立することであっても、仮設の歯科クリニックを設けることであっても、ロータリアンをロータリアンたらしめる真髓が変わることはありません。
-
- 多様性を強みとするロータリーは、今も職業分類を基本としています。高い倫理基準は時代を超えた価値観であると信じる私たちは、今も「四つのテスト」を壁に掲げています。そして何よりも、ポール・ハリスが信じたのと同じように、人生の最大の目的は人類に奉仕することだと信じています。
-
- このような理由から、2016-17年度のロータリーのテーマはシンプルに「人類に奉仕するロータリー」といたしました。
-
- 朋友の皆さん、ロータリーはすでに驚くほどの功績を成し遂げました。妻ジュディーと私も本年度その多くを目にしました。しかし、ロータリーはもっと成し遂げることができると私は考えます。
-
- ロータリーがさらに前進するには、意欲と思いやりと知恵にあふれた人たちがもっと必要です。さらに、若い人たち、退職後間もない人たち、現役で仕事している人たちが皆、ロータリーに入会して活動したいと感じるような、柔軟性のあるクラブが必要です。新たなパートナーシップを模索し、ほかの団体との協力関係を切り開き、協力を通じてもっと多くを達成すべきです。リーダーシップの継続性もさらに重視する必要があります。これは、ポリオ撲滅活動から学んだように、最大限の成果を得るには、皆が共通の方向に進む必要があるからです。人類に奉仕しなければなりません。
-
- これは、私たち全員にあてはまることです。私たちは一つのチームであり、一人の達成はチーム全体の達成でもありません。しかも、達成そのものだけでなく、達成に向けて助け合うことも大切です。なぜならロータリーのリーダーシップは、奉仕活動と同様、協力が基本となるからです。
-
- これまで、地区ガバナーは「ファーストクラス」、「ベストクラス」、「ワールドクラス」などと呼ばれてきましたが、来年度は、ロータリアン全員を一つのチームとして、「ロータリーチーム」と呼びたいと思います。このチームは、より良い世界という共通の目標に向けて、共に活動し、共に奉仕し、共にがんばる、120万人のロータリアンのチームです。
-
- それがロータリーのあるべき姿です。ただし、今日ここにいらっしゃる皆さんは、その中でも特別な方々です。ロータリーチームのレギュラーメンバーではなく、選ばれた最高のメンバーであり、「ロータリーオールスター」と呼んでもいいでしょう。
-
- 助けを最も必要とする人びとの人生を変えるような活動をしているロータリアンのリーダーとして選ばれた皆さんを、ロータリーは必要としています。
-
- ロータリアンが井戸を掘り、学校を建て、ポリオを撲滅するのを、世界中の人びとが待っています。
-
- ロータリアンにとっては、毎日が人びとの人生を変える機会です。それが小さな機会に思えることもあるかもしれませんが、自分には大したことはできないと思うかも知れません。
-
- しかしそれらの機会が、決して小さなものではありません。皆さんが手を差し伸べる人たち、愛する人たちにとって、そして、今の世代だけでなく、これから何世代にもわたり、皆さんが行うことが違いを生んでいきます。今よいことをすれば、後世により良い世界を遺すことができるのです。
-
- よいことを、毎日一つずつ行う。それだけで違いが生まれます。
-
- それが、私たちがロータリーにいる理由であり、まさにロータリー奉仕です。そして来年度、ロータリー奉仕が効果的に行われるかどうかは、皆さまの肩にかかっています。
-
- ロータリーが最善を尽くして人類に奉仕し、できる限り多くの人びとの人生をより良くできるようにすることが、皆さんの役割です。
-
- 今も、重い水容器を頭に載せて運ばなければならない母親たち、学校教育をあきらめなければならない少女たち、ポリオにおびえながら生きている子どもたちにとって、来年度は世界がより良いところとなるように。「人類に奉仕するロータリー」がこれを実現できるようにすることが、皆さんの役割です。
-
- 皆さん一人ひとりがロータリーという大きな機会を見出し、この機会をつかんだからこそ、実現できることなのです。
-
- ご清聴ありがとうございました。

ニュースレター

RID2640 豊澤ガバナー様

News from RLI International, January 2016

RLI国際ニュースレター

2016年1月

ロータリー・リーダーシップ研究(RLI)は、マルチ区、世界中の地域部門に組織のメンバー地区の草の根リーダーシップ開発プログラムです。これは、RI理事会が推奨すると強く自分のトリエンナーレの会合の3に規定審議会によって承認されました。RLIは最近、ロータリークラブに参加した者を含む潜在的なクラブ役員とその他のクラブ会員のための品質のリーダーシップ開発コースのシリーズを行っています。コースはリーダーシップスキル、世界中のロータリーの知識の両方を強調しています。すべてのコースのセッションは完全にインタラクティブです。81 RLI地域部門は、リーダーシップ教育は熱意を作成し、ロータリーのための係合を促進することにより、会員の保持にプラスの影響があると信じています。

1月、2016

PRIDデビッドLinett、エディタPDGアーロンスタイン、出版社

世界中のすべての読者に新年あけましておめでとうございます！

リーダーシップについてランダムな思考

「平均ボス」とみなされる事業の特定の指導者に関する主要な新聞で興味深い資料では、以下の引用がありました：

「無礼と悪い行動は全て、特に私たちが仕事の問題で互いに治療work.Howで、過去数十年にわたって成長してきました。小文字を区別しない相互作用が人々の健康、パフォーマンスと魂で離れて削りの方法を持っています。」一部の人は厳しさとぶっさらぼうで誰かが物事を取戻す効果的な指導者を作ることを考えているようです。もう一度考えて！！

前向きとCURRENTMEMBER RLI地区代表が国際協議で会うために招待しました

地区ガバナーエレクトとRLIのメンバーになって、その地区の可能性を議論に興味を持って他のものは、誠意をもって国際協議で、PDG / DGEフランクWargo、トレーニングのためのRLI国際副議長に会うために招待されています。彼らは満たしているか、議会で彼を探すために時間を議論するためにfrank.wargo@snet.netでフランクに書き込むことができます。RLI国際リーダーシップスタッフの一員として、フランクは完全にRLIについてなど、提案をし、質問に答えるために装備されています。

ソウル、韓国、RLIイベント

ロータリーの最大の表記法の一つとして期待されているもので、RLIは、イベントの非常にアクティブなスケジュールを持っています。RLIのための主要ないつもお祭りのイベントは非常にのKintex展覧センター近くMVLホテル、高陽市、コンベンションセンターのサイトでのグラウンドボールルームで7:30に6月1日(水曜日)の年次大会朝食をisthe。これは、ボールルーム席500人など、アジアのフルアメリカンビュッフェ式朝食とスピーカーの優れたプログラム、賞を特色にします。イベントのために国の議長をホストPRIDグァンウンテヨンキムとPDG Jungho町と国際空港です。議長は、PDGマイケルRabasca、RLIエグゼクティブ・ディレクターです。

登録チラシはRLI国際空港に掲載されています。www.rotaryleadershipinstitute.orgでウェブサイトとは、一人\$ 28.00米国内で米国チェックやほとんどの主要なクレジットカードによる登録のための情報が含まれています。韓国のロータリアンはWONIに登録し、また、ホームページに掲載し、韓国語のチラシを使用してもよいです。初期の登録が提案されています。

ニュースレター

また、ソウルで、RLIは、知識豊富なRLIの指導者が常駐友情のハウスで展示ブースを持つこととなります。我々は、すべてのRLIのメンバーや他の大会参加者がブースに立ち寄り促します。

RLIは、最も可能性の高いRLIを議論したい方のためのコンベンションセンターや近くのMVLホテルでの小グループ会議を提供します。

RLIシニアリーダー諮問委員会の歓迎新メンバー

RLIはRLI国際シニアリーダー諮問委員会のメンバーとして、RI理事エレクトホルへAufrancを歓迎することは非常に満足しています。グアテマラのRIDEホルへは、当社の中央アメリカ部門を再活性化し、彼は次期RI理事としての彼の新しい役割に専念するために辞任するまで、その議長を務めました。彼のリーダーシップは中央アメリカのすべてに優れたRLI課につながりました。

ケニアのGeetaManek新しいRLI国際地域チェアです

(SubSaharanAfricaのすべてをカバーする)ケニアのゾーン20A研究所のホスト組織委員会の議長を務めた地区9212のPDG GeetaManekは、東部および中央アフリカ地域議長の位置を受け入れました。彼女はその領域にRLI地区のサポートとリソースを提供し、世界中の15他の地域議長に参加します。彼女はアフリカ委員会に手を差し伸べるまた、RIのメンバーであり、ゾーン20A(JA)のための地域コーディネーターです。彼女の夫、カウシクは、また、ロータリー財団の委員会で、PDG、アクティブです。モーリシャスの地域共同議長ディネツシュGajeeleelは、地域のフランス語圏を支援します。

ウォリックシャー、イギリスの複合ゾーン研究所のRLI

ゾーン15、16、17 & 18A(スカンジナビア、などとRIBI)はウォリックシャー、イギリスでこの過去の秋共同研究所を持っていました。RLIはゾーン15および16(スカンジナビア、バルト諸国、ロシア西部、ポーランド)で非常にアクティブであるが、それはまだRIBI地区(イングランド、ウェールズ、スコットランド、北アイルランドとアイルランド)のアクティブではありません。RLI国際空港。デンマークの地域チェアニルスオベジェンセンは彼のゾーンは、デンマーク、スウェーデン、フィンランドからRLI地区椅子が常駐友愛の家でスタンドを持っていました。上記の4つのゾーンのすべてから多くの研究所のロータリアンを集めていることを報告しています。スカンジナビアRLIにカスタムであるように、すべての4つのゾーンからロータリアンを集めRLIアーリーボード会議がありました。デンマークの国際ロータリー理事/財務部長PerHoyenは、会議に出席し、彼の多くの訪問中にRLIを推進してきたし、また私たちは非常に多くの新しいRLI地区の確立に彼の効果的な仕事のために地域のチェアニルスオベジェンセンに感謝し、彼の地区1461の最初の教員研修に参加しましたスカンジナビアなど

東アフリカRLI部門は再編成します

東アフリカの一部で膨大な距離を反映させるためには、東アフリカ部門は2つの部門、地区9211(タンザニア、ウガンダ)と、別の地区の9212用(エリトリア、エチオピア、ケニア、南スーダン)のための1つに分割されます。国際ながら。RLIは、通常、それは常に新しい部門はカンパラ、ウガンダ、アディスアベバのTeshomeKebedeRedieの地区ガバナーロバートWaggwaNsibirwa、エチオピアだけでなく、東アフリカ、現在の事業の議長の支持を得ているなど、新しい部門の承認に地域の状況を考慮し、多地区部門を支持しますRLIのために素晴らしい仕事をした、PDG博士フランシス・F・Tusubira、。新しい部門の議長はすぐにそれらが確認されると発表されます。

ニュースレター

RLIとローターアクト

先月発表されたように、RLIフランスの部門は、ローターアクト・リーダーシップ研究に取り組んできました。PRIDジャック・ディ・コスタンツォ、フランスの部門の議長は彼の部門は北リヨンのローターアクト・クラブのリーダーシップ研究所、フランスは彼の部門の一部となっていることを示唆したことを発表しました。このとき、RLIは、このようなコラボレーションが正の開発であるかどうかを決定するためのパイロットプログラムとしての関係を歓迎しています。ANY RLI事業部は、ローターアクト・クラブの経験を持っていた場合、我々はRLI INTL TO YOUR SENDINGコメント/提案をいただければ幸いです。CHAIRデビッドLinett、ginlin@aol.comとフランスDIVISIONチェアジャック・ディ・コスタンツォ、jacquesdico@aol.com。

RLIエグゼクティブディレクター、マイケルRabascaサンシャイン課クルーズで卒業生に対処

RLI国際局長は、サンシャイン課クルーズで発表RLIのコースを完了した167ロータリアンのための卒業式でのスピーカーでした。クルーズ、サンシャイン部門のユニークなプロジェクトでは、分割数のロータリアンやゲストの大規模なグループのためのRLIコースとクルーズ体験を組み合わせました。

人事異動

PDGファン・カルロス・ProticGardenalとPDGロベルトフォンタネッラは今部門の顧問であり、PDGミゲル・アンヘル・マルティネスPereyaとPDGオスカーベルガラを、後続の、ブエノスアイレス課(アルゼンチン)の共同議長となっています。後者は共同議長として三年間務めてきました。

その他の変更は、2月eBulletinに発表されます。

あなたはRotary.orgにRLIディスカッショングループに参加していますか？

RLIは、多くのロータリーのトピックについて意見/ご提案を表現するロータリアンのための絶好の機会を提供し、RIのウェブサイトにも多くのディスカッショングループの一つです。RLIディスカッショングループでは、ロータリー・リーダーシップ研究/ RLIと呼ばれ、rotary.org/myrotaryで見つけることができます。この記事の執筆時点で、グループは534のメンバーとディスカッショントピックのかなりの数があります。グループは、RLIメンバーかどうかにかかわらず、すべてのロータリアンに開放され、誰もがディスカッショントピックを開くことができます。今日サインアップしてあなたの意見を表明。

<https://vimeo.com/116091126>でPDGクリスオファーによりプロモーションビデオを参照してください。

RLI哲学

「リーダーシップスキルを持つことだけで良いロータリーの指導者を保証するものではありません。効果的なロータリー指導者はまた、ロータリーの知識、それは今どこにロータリーは、されている場所についての視点とロータリーができることのビジョンを持っている必要があります。」

ロン・バートンRI会長からのメール



Ron D. Burton
President, 2013-14
T +1.847.866.3025
F +1.847.866.3390
ron.burton@rotary.org

2014年4月29日

3F Nishiei Bldg. 2-27-1, Habu-Cho
Kisiiwada City, Osaka
Japan 596-0825

地区ガバナー 久保 治雄様

この度、第2640地区が2015-16年度ガバナーを選出する2度目の手続きを完了したと伺いました。直前ガバナーの北中登一氏が実施した1度目の選出手続きでは、2012年9月に豊澤洋太朗氏を選出し、同年10月にRIへ必要書類を提出しています。これに対して当時、異議や選挙手続きに関する申し立てはRIに一切提出されませんでした。

ところが、久保様がガバナーに就任後、豊澤ガバナーノミニーは失職したとの通知を発行の上、2度目の選出手続きが実施されました。2014年3月に完了したこの2度目の選出手続きでは、2015-16年度ガバナーとして新たに岡本浩氏を選出するとの通知が地区内クラブに送られました。

ここでご留意いただきたい点は、1度目のガバナー選出手続きは正規に実施されたものであり、豊澤ガバナーノミニーを失格とする根拠がないことです。さらに、地区ガバナーには、既に完了したガバナー選出手続きを無効としたり、選出済みのガバナーノミニーを失格とする権限はありません。

従って、豊澤洋太朗氏が第2640地区2015-16年度地区ガバナーであることをここに確認し、ロータリーの「超我の奉仕」の精神の下、久保様をはじめ地区内すべてのロータリアンが豊澤氏をサポートするようお願いいたします。またこの点について、至急、地区内クラブへ通知を行ってください。岡本浩氏については、将来の地区ガバナー候補としてご検討いただくことを奨励いたします。

第2640地区における論争は未だ解決に至っていないことから、小沢一彦管理委員に引き続き、私の特別代表となつていただくことを依頼し、恒久的な解決に向けた調整をお願いしました。ゲイリー・ホアンRI会長エレクトも、2014-15年度に小沢管理委員が続けて調整役を務めることに同意しています。

第2640地区が相違を乗り越えて前向きな解決策を見出せるよう、地区リーダーと地区内ロータリアンが協力することを改めてお願いいたします。まずはこれまでの紛糾を過去のものと考えてはじめて、地区を健全な状態に戻し、ロータリーを実践しみんなに豊かな人生を実現するための真の奉仕に取り組むことができるはずです。

ご協力をよろしくお願いいたします。

ロン・バートン

CC: ゲイリー・ホアン 2014-15年度RI会長
小沢一彦 ロータリー財団管理委員
松宮 剛 RI 理事
北 清治 RI 理事
ジョン・ヒューコ RI 事務総長

地区目標 「ロータリーの原点に戻ろう」

地区運営方針

1. ロータリーの基本に戻り、奉仕と友愛を基調とした地区運営を目指す。
2. 地区内クラブの理解度不足による意見の相違を解決する。
3. 地区の各種会議をウェビナーで行う。
4. 地区内のクラブは年齢35歳未満の会員の会費と入会金を免除できる。
さらに、地区は、この年齢層の会員の地区賦課金を減額できる。

2015-16年度 地区目標

1. ロータリーの基本を学ぶ
2. 財団をサポートする
3. 会員増強に努める
4. 青少年活動を推進する

数値目標

会員増強 1クラブ純増 最低1名
新クラブ 最低1クラブの結成
財団寄付 200ドル/会員
ポリオ・プラス 50ドル/会員
米山奨学 20,000円/会員

ロータリーの特別指定月間

ロータリーの特別指定月間は、2015年7月1日より変更されます

8月: 会員増強・新クラブ結成推進月間

9月: 基本的教育と識字率向上月間

10月: 経済と地域社会の発展月間

11月: ロータリー財団月間

12月: 疾病予防と治療月間

1月: 職業奉仕月間

2月: 平和と紛争予防／紛争解決月間

3月: 水と衛生月間

4月: 母子の健康月間

5月: 青少年奉仕月間

6月: ロータリー親睦活動月間

2月：平和と紛争予防／紛争解決月間

平和と紛争予防／紛争解決月間

- ローターリー平和センターで学んだこの平和構築専門家は、英国からオーストラリアに赴き、スーダンからの難民のコミュニティーづくりを支援するとともに、紛争解決に取り組んでいます。
- 世界で6,000万の人びとが武力紛争や迫害によって住居を失っています。武力紛争からの避難民の90パーセントが民間人で、そのうち半数は子供です。ロータリーは奉仕プロジェクト、フェローシップ、その他の活動を通じて紛争を予防・解決し、危険地域を逃れてきた避難民を援助する人たちに研修を提供しています。会員はまた、貧困、差別、民族間の摩擦、教育機会の不足、リソース分布の不平等などといった、紛争の構造的な原因を改善するプロジェクトを実施しています。
- >> [ロータリーに入会](#)し、世界で平和を推進する
- >> 平和推進のために[寄付をする](#)
- **ロータリーによる平和推進活動の例**
- [ロータリーが米国平和部隊と協力合意](#)
- [ロータリー平和センターの新しい募金目標が決定](#)
- [平和フェローがイランの今を語る](#)
- [外交官の安全を守る平和フェロー](#)
- **リソース&参考資料**
- [ロータリー平和センターを支援する](#)
- [ロータリー平和フェローシップについて](#)
- 会員による平和推進プロジェクトを[ロータリーショーケースで閲覧する](#)
- 支援を必要としている平和推進プロジェクトを[アイデア応援サイトで見つける](#)
- [ロータリーの「平和と紛争予防／紛争解決」担当マネージャーに連絡する](#)
- [「平和のためのロータリアン行動グループ」のウェブサイト](#)

ロータリー資料より

「■デジタル化された資料は「※」及び次ページの「番号.pdf」のリンクをクリックすると表示されます。

書名	著者/出版社	発行年	ページ	※
『会員増強』は誰のため？	野中玄 雄 D.2730月信	2015	2P	※
会員増強および拡大月間に寄せて	貞方正 一 D.2740月信	2015	2P	※
会員増強・拡大特別月間特集	- D.2820月信	2015	5P	※
会員増強ドリームプランの実践	野上征利 第43 回ロータリー研究 会報告書	2015	6P	※
韓国の会員増強と維持について	SangKoo Yun 第43回ロー タリー研究会報 告書	2015	3P	※
会員を引き込む	- D.2570会員増 強セミナー資料	2015	2P	※
サクセス・ジャパン大作戦 10万人会員を目指して	松宮剛・北清治・ 辰野克彦 D.2570会員 増強セミナー資 料	2015	2P	※
会員は何故減少するのか。会員増強に妙手はあるのか。どうあるべきか今後のロータリー	久野薫 新ロー タリーを語ろう	2015	20P	